



2021年3月5日

各 位

会社名 ティーライフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西上 節也
 (コード: 3172 東証第一部)
 問合せ先 取締役コーポレート本部長 伊藤 和也
 (TEL. 0547-46-3459)

業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2021年3月5日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年9月4日に公表いたしました2021年7月期の通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決定いたしました。また、2021年1月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2021年7月期の通期連結業績予想の修正（2020年8月1日～2021年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,906	530	530	368	86.80
今回修正予想 (B)	11,029	700	709	560	131.89
増減額 (B-A)	1,122	170	179	191	
増減率 (%)	11.3	32.1	33.9	52.0	
(参考) 前期連結実績 (2020年7月期)	10,577	496	525	420	99.03

(2) 修正の理由

売上高につきましては、コロナ禍における外出自粛の影響で在宅率が上昇したことにより、小売事業では、ECモールでの巣ごもり需要に対応した商品が引き続き好調に推移し、卸売事業では、テレビショッピングでのサプリメントの販売が大きく伸長しました。また、プロパティ事業では、袋井センター及び掛川センターの賃貸稼働率が向上したことに加えて、他社出荷業務の受託量が拡大したことにより、前回発表予想を上回る見込みであります。

一方、利益面につきましては、新規顧客開拓を目的とした広告出稿や既存顧客向けカタログの配布効率の改善による広告宣伝費の低減により、販売費及び一般管理費が計画を下回ったことから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大きく上回る見込みであることから、上記のとおり2021年7月期の通期連結業績予想の修正をいたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）について

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年9月4日公表)	前期実績 (2020年7月期)
基 準 日	2021年1月31日	同左	2020年1月31日
1株当たり配当金	20円00銭	15円00銭	10円00銭
配当金総額	84,998千円	—	42,499千円
効力発生日	2021年4月5日	—	2020年4月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）配当予想の修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 15.00	円 銭 15.00	円 銭 30.00
今 回 修 正 予 想	—	24.00	44.00
当 期 実 績	20.00		
前 期 実 績 (2020年7月期)	10.00	20.00	30.00

（3）理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要な課題と位置づけており、企業体質の強化及び今後の事業拡大のための内部留保の充実を勘案しつつ、配当性向30%を目途に、每期安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

この方針に基づき、2021年7月期の配当につきましては、1株当たり中間配当15円、期末配当15円、年間30円を予定しておりましたが、今回の通期業績予想の上方修正を踏まえ、中間配当を5円増配の1株当たり20円、期末配当を9円増配の1株当たり24円に修正することといたしました。

この結果、2021年7月期の年間配当金は前期と比べ14円増配の1株当たり44円となり、配当性向は33.4%となる予定です。

なお、期末配当金につきましては、2021年10月開催予定の当社第38期定時株主総会に付議いたします。

(注) 上記の業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上